

「導入時に英語の歌を歌うことによる成果」

1 研修のねらい

『英語の歌を導入時に歌うことで、「聞く力」を高め「なめらかな発音」を自然に身につける』

2 本校の生徒の実態

現在、私は中学校3年生（4クラス）の英語の授業を担当している。同一学年を3年続けて指導しているが、生徒の学習意欲は大変高く授業中、8割の生徒が1カ月100回以上の挙手を行い、ALTの授業では、積極的に意見を述べたり、楽しく活動を行ったりしている。昨年度末のアンケートでは、英語の授業が好きだという生徒が8割を超え、全ての生徒が、授業で良かった活動に「導入時に歌う英語の歌」を選択しており、英語の歌が英語の授業を好きだと答える現況を作っている要因の一つと考えられる。

3 研修方法

- ①英語の導入時に英語の歌を歌う。曲の選定は教師が行い、そのときに学ぶべき文法が含まれており、テレビコマーシャルなどで流れているような、普段の生活でも聞くことのあるような曲を選ぶ。
- ②英語の曲の歌詞カードを用意し、左には英語、右には和訳というように意味をおさえながら歌える手だてを講じた。
- ③英語の歌を歌う前には、必ず音読練習を行い、全員が歌詞を読めるようにする。
- ③歌詞の中に出てくる既習単語は、音読練習後に簡単な確認を行う。(How do you say ~ in English?)
- ④全員が大きな声で歌えるように、教師の声を上回った集団から、新しい曲に変えていくシステムを取る。

4 研修の成果

英語の歌を歌うことで、様々な成果が得られた。一つ目は「**聞く力の向上**」である。3~4分の一曲の中で250~350単語を発声することになるので、単語を続けて読むことによる音の脱落にも慣れてくる。週に一度のALTの授業では、ALTのナチュラルスピードに対し、要点を掴み、物怖じすることなく返答する生徒が大変多く、また学力調査のリスニング問題では、正答率の平均が70%以上を維持するなどの効果が得られた。

二つ目は「**語彙の蓄積**」である。一曲の中にある単語は既習単語ばかりではない。中には英検1級レベルの難しい単語もある。生徒の負担になるほどの未習単語ばかりの曲は選定の段階から除外するが、英語に関心の高い生徒は、そのような単語を覚えてしまい、英作文の際に使用するなどし、語彙の蓄積に役立った。また、教科書で学習する前に英語の曲で未習単語と出会うことで、教科書指導の際に新出単語として、それらの単語が出てきた際の理解をしやすいなどの効果も得られた。

三つ目は「**英語への興味関心を高める**」ことである。日常のあらゆる場面で英語の歌（洋楽）が流れており、授業で取り扱うことで、英語の歌に対する苦手意識を取り払い、自ら洋楽のCDを購入して聞いたり、また自分で興味のある洋楽の歌詞を和訳したりと、学校以外で生徒が英語と触れ合う機会が増えていった。その表れとして、3年生のLesson5 Stevie Wonder~The Power of Musicの単元では、Stevie Wonderの曲をすでに複数曲知っている生徒が多数おり、本単元は多くの生徒が楽しく学習できた単元だったと後の自己評価カードで述べている。

その他にも、英語の歌を授業の始めに歌うことで、気持ちの良いスタートが切れると答える生徒がいたり、数回の授業で同じ曲を何度も繰り返して歌うので、回数を重ねるたびに、なめらかな英語で歌を歌うことのできる楽しさを実感する生徒が出てきたりしたのも事実である。また、扱った曲の中では、「世界平和」や「差別の撤廃」を歌った曲もあり、国際理解や平和活動についてじっくりと考える機会につながった曲もあった。(Michael JacksonのHeal the WorldやLady GagaのBorn This Wayなど)

5 研修の課題

英語の歌の活動は、すべての生徒が好きな活動であり、様々な成果が出てきているが、課題として、「授業時間を大幅に使ってしまう」という難点がある。新しい曲への導入の際には、歌詞の読み込みや読解で時間を要することもあり、毎回の音読練習、語彙の確認、歌までの一連の流れはおよそ10分程度かかってしまう。そのことで授業の進行に遅れが出ることはないが、丁寧に机間指導ができなかったり、十分な言語活動ができなくなったりしてしまうことがある。言語活動をじっくり指導したいときは、英語の歌を歌わないこともあるが、そうなったときには落胆の表情を浮かべる生徒も少なくない。また、生徒がリクエストで英語の曲を持参することもあるが、中学校現場では適切でない表現が多く含まれていたり、歌うスピードが速すぎて下位生徒が付いていけなかったりするような曲もあり、生徒が主導で行える活動ではないことも課題の一つである。生徒が自ら曲を選び、曲の大意を掴んだうえで、その曲を楽しく歌を歌うことができれば理想だが、授業の時間を要して歌うとなると、どの生徒にも分かりやすい楽曲を選ぶことが大前提である。

※補足 この3年間で扱った楽曲の一覧

() 内はこの曲を選んだ意図や含まれている文法

◎とても人気があった曲 ○人気があった曲

【1年生】

・ Sesame Street Theme

(簡単に歌うことができる/how to~)

・ Hello Goodbye/The Beatles

(あいさつ表現/一般動詞肯定文・否定文)

・ Sing/The Carpenters

(命令文)

・ Sugar Baby Love/Rubettes

(夏の歌/過去形否定文)

○Xanadu/Olivia Newton John

(現在進行形/There is are)

◎Change the World/Eric Clapton

(接続詞 if/will)

・ Daydream Believer/The Monkees

(セブンイレブン CM ソング/時間/What)

○Can't Smile Without You/Barry Manilow

(can/can't/現在進行形/接続詞 if)

○Carnival/The Cardigans

(will/命令文/would like to)

◎To Feel the Fire/Stevie Wonder

(キリン FIRECM ソング/一般動詞の文型/with の使い方)

◎Suddenly I See/KT Tunstall

(スピードの速い曲に慣れさせたい)

○Saturday in the Park/Chicago

(アメリカの独立記念日/曜日/can/think that)

◎Make It On My Own/Alison Limerick

(過去形/can/接続詞 that)

【2年生】

・ Joy to the World/Three Dog Night

(単複同形名詞/be 動詞の過去形)

○Top of the World/The Carpenters

(前置詞)

○Together Forever/Rick Astley

(接続詞 if/否定命令文/過去形)

◎Can't Take My Eyes off of You/Boys Town Gang

(命令文/too~to/There is are/不定詞)

◎September/Earth, Wind and Fire

(9月の時期的に/過去進行形/日付)

◎Happy/Pharrell Williams

(Why~because/命令文)

◎I Just Called to Say I Love You/Stevie Wonder

(不定詞(副詞的用法))

○Stranger/Billy Joel

(接続詞 when/否定命令文/Everyone+動詞s)

◎I Just Can't Stop Loving You/Michael Jackson

(動名詞/can/副詞)

○Breakout/Swing Out Sister

(否定命令文/接続詞 when)

【3年生】

○Bad Day/Daniel Powter

(接続詞 when/頻度を表す副詞)

◎Call Me Maybe/Carly Rae Jepsen

(give 人物/命令文/前置詞)

○Copacabana/Barry Manilow

(ブラジルのリオが舞台の曲/過去形/受動態/スピードが速い)

・ I Don't Wanna Fight/Nate James

(want to (wanna)/going to (gonna)、現在完了)

◎Baby (feat Ludacris)/Justin Bieber

(接続詞 that の省略)

・ Lady Madonna/The Beatles

(トヨタプリウス CM ソング/不定詞/受動態/現在完了)

○Sir Duke/Stevie Wonder

(関係代名詞/Lesson5 の内容とリンク)

◎Heal the World/Michael Jackson

(世界平和/make A B/関係代名詞/There is are)

○Born This Way/Lady Gaga

(人権/スピードの速い曲/接続詞 when/過去形)